

電気通信大学 平成18年度シラバス

授業科目名	言語処理系論		
英文授業科目名	Compiler		
開講年度	2006年度	開講年次	3年次
開講学期	6学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	専門科目-学科専門科目-選択科目		
開講学科・専攻	情報工学科		
担当教官名	山崎 憲一		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
<p>主題： プログラミング言語と言語処理系はどんな考えのもとに作られているかを理解し、その理論と実際を学ぶ。</p> <p>達成目標：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) プログラミング言語の必須機能の理解。 2) BNFによる言語仕様記述の理解とその応用。 3) コンパイラの構成と機能の理解。 4) 字句解析方式の理解と応用。 5) 下向き構文解析方式の理解。 6) コード生成方式の理解。 7) 小さい言語に対するコンパイラの作り方の理解。 8) 最適化技法の理解

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
計算機通論、データ構造論

【教科書等】
<p>教科書：「コンパイラの仕組み」渡辺坦著、朝倉書店、1998.</p> <p>参考書：「コンパイラの構成と最適化」中田育男著、朝倉書店、1999. など</p>

【授業内容とその進め方】

第1回：言語処理系論概論
第2回：コンパイラの概要
第3回：字句解析
第4-6回：構文解析
第7回：意味解析
第8回：実行環境
第9回：コード生成
第10-11回：TinyCコンパイラ
第12-14回：最適化

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

- (a) 成績評価方法：深く理解するための複数回のレポートで判定する。
(b) 評価基準：達成目標に述べた1)から8)についての達成度が一定の水準であれば合格とする。

【オフィスアワー：授業相談】

メールによる質問を受け付ける。メールアドレスは授業の中で知らせます

【学生へのメッセージ】

できあがった理論の説明を主とするのではなく、現実に直面する問題をどのように解いてゆけばいいかを模索する形で、言語処理の技術を説明する予定です。

【その他】